

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどものやかた			
○保護者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、ST、OT、支援級教諭等がそれぞれの専門知識をいかして子どもの支援を行えている。 ・職員同士で向上心を高め合う意識を持っている。	・定期的に職員会議を行うようにしてからPDCAサイクルの意識を共有できるようになった。 ・さまざまな研修を受けて知識の向上に努める。	・第三者の外部評価の実現を図る。 ・研修の機会をさらに増やす。
2	・児発については人数も少ないため個々の課題を把握し支援することができている。	・達成目標を掲示しそれに即した活動を組み合わせている。	・同様の手法を放デイに活用させていきたいが人数が多く下校時間もバラバラであり容易ではないので思案している。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設が古い一軒家であるためバリアフリーではなく死角も多いため安全面に不安が残る。 ・色々なものが目に入るため子どもの気が散りやすい。 ・もう少し広い空間を確保できればと思う。	・日々の清掃を徹底し危険を予測し可能な限り予防措置をとる。 ・余分なものを整理整頓する。	・事故防止および虐待防止のため防犯カメラを設置した。 ・指導訓練室のガラスに飛散防止のためテープを貼る。
2	・職員間で話し合う時間が足りていない。 ・本人支援以外の部分が後回しになっている。	・日常業務におわれて時間を確保することが難しくなる。 ・新しい制度はもちろん既存の制度についても基本的な知識を理解していないことがある。	・制度についての理解を深める。
3	・保護者との話し合いの機会を設けることが難しい。 ・他の関連機関と話し合う機会をもっと設けるべきと感じる（担当者会議では難しい）。	・こどもの周囲にある環境についてもっと直接的に拘る必要を感じる。 ・保護者との関係性構築について問題があるわけではないが今のままで良いとも思えない。	・保護者と接する機会をより大事にしていく。